



Asflora 便り 2019 年 5 月 13 日 近況報告（植樹地、セミナー、アバエテツバ湿地帯）

Asflora（アマゾンニア森林友の協会）の、4 月、5 月初めの活動状況を写真でご覧ください。

2018 年度植樹地：ベレン市モスケイロ区で、昨年 3 月 27 日にファゼンダ・エスペランサという、カトリック教会の薬物中毒者回復施設で植樹祭を行い、三菱商事と NPO『地球村』支援の森づくりを行っています。この植樹地は水はけが思いの外悪く、植えた苗木がよく育っていない所が目立ちました。通常、植樹後 1 年以内で下刈りが必要ないほどに生育するのですが、ここでは、5 回目の下刈り作業を 4 月に行っています。下の写真は、4 月 9 日のものです。（欠株が目立った所です）



~~~~~

**広報活動：**ベレン市内の州立ウチンガ公園では、毎月一回地元物産、手芸品などの市場を設けました。Asflora は、州森林開発・多様性保全院（Ideflor-bio）との提携関係から、この市にも参加して、種子からできた装飾品や材鑑サンプル、パンフレットを置いて、Asflora の活動の紹介を行っています。



2019 年 4 月 6 日、第 2 回目のウチンガ公園ファイラ（市）へ参加。

~~~~~

パラ州立大学、環境工学部「荒廃地の回復」講座での講義：

4 月 16 日、Denise Torres 教授の教室で、最終学年 5 年生 25 名に、午前中 3 時間余の「混植密植の Miyawaki 方式」による荒廃地での森づくりについて講義を頼まれ、Asflora の Joseane、Bruno、佐藤の三名がこのミニコースを引き受けました。当地では、三菱商事が 1991 年末から、宮脇昭（横浜国大名誉教授）を連れて来てくれて、この混植密植での地元本来の森づくりの指導があり、

ブラジル永大木材（株）の所有地各地で 2004 年まで植樹を続けました。 2005 年から現在まで、Asflora が植樹地を探して、三菱商事はじめ、イオン環境財団、NPO 地球と未来の環境基金、緑の募金、NPO 地球村などのご支援を得て、この方式による森づくりを継続しています。これまでのこの森づくりを紹介し、森を守ることの難しさを共に考えて貰いました。 教室全体でとても熱心に聴いてくれました。 この講義を受けてくれた学生たちは、一週間後にウチンガ植樹地に出向き、植樹に参加しました。



~~~~~

**州立ウチンガ公園内植樹地：** 4 月 23 日午前中、ウチンガ公園内で Asflora 植樹地で、州立パラ大学環境工学部学生（25 名）と州森林開発院関係者、その他合計 35 名で、植樹の実地説明と継続作業を行いました。この日で、同地（0.3ha）に計画した 7800 本の苗木全てを植え終わる予定でしたが、土壌が悪いため慎重を期し、植え付け完了を急ぎませんでした。



↑ 植え付けに使う埴土の説明。



↑ 中央は同公園のイバン理事





ここまで 4 月 23 日の写真です。

下は、5 月 13 日の写真です。苗木累計 7700 本を植え付けました。残り 100 本は、近くの身体障害児の学校生徒が来て植えたいと申し出て来ています。右下写真の通り、雑草が繁茂し、3 度目の除草が必要です。除草後、鶏糞入り堆肥散布、マルチング材としてアサイの絞りカス（アサイ種子）を敷き詰めます。



~~~~~


マリツバ市立基礎教育学校 マリア・ド・カルモ：4月29日、同校の8周年祝いに、日ごろから環境教育で関係の深い Asflora が招待されました。Asflora から18本の苗木を贈り、5年生たちが校内に記念植樹しました。



~~~~~

#### **ベレン市内のコミュニティ緑化活動：**

ウチンガ公園内へ通じるジョンパウロⅡ大通り脇で、コミュニティによる緑化推進活動が始まっています。5月4日、州森林開発院の要請があり、Asfloraも堆肥や緑化用の苗木を寄付し、その活動に佐藤とジョジアーネが参加しました。まだ近辺住民の関心は低く、ごく一部の住人の参加しか見られませんでした。いつもゴミの山になっている場所を掃除しつつ、緑化を試みることで、少しでも身近な環境を良くしようとするきっかけになればと、参加者は汗を流しました。



~~~~~

アバエテツバ市サンジョアン・デ・バッチスタ地区：

Asflora はアグロフォレストリー普及支援事業（EFF/緑の募金助成）を同地で行っています。

5月10日、母の日の催しがあり、Asflora は、薬草の栽培と活用の一環として「手作り皮膚ケア用品」の講習会を行いました。

地区の学校に集まった湿地帯コミュニティのお母さんたちを、10人ずつ4クラスに分け、皮膚の血流を良くするクリーム、芳香剤、シャンプー、石鹸づくりを体験してもらいました。AsfloraのJosianeとBrunoがEMBRAPA（農牧林試験公社）のOsamar博士の指導を受けて、その成果を伝授したものです。佐藤もOsamar博士から以前、薬草と利用の講習（5日間）を受けました。自作の石鹸、シャンプー、クリームを早速試用した女性たちは、「使い勝手が良い、ぜひもっと知りたい」、「作ったものを、売ってみたい」と好評で、更に講習会を続けることにしています。



下左は、改築したコミュニティ苗畑、これから薬草を増殖予定。右下は、地区リーダーの家の浮き栈橋。



Instituto Amigos da Floresta Amazônica-ASFLORA
Takushi Sato-Presidente Josiane Mattos-Diretora Bruno Amaral - Coordenador